

からくり新聞

2015年6月発行 からくり新聞第47号 編集:岩原真実
〒250-0055 神奈川県小田原市久野3764-9 からくりクラブ事務局
TEL 0465-32-3631 FAX 0465-32-3634 E-mail: info@karakuri.gr.jp

松屋銀座・新作発表会「大人だってあそびたい からくり×2」終了しました

毎年恒例の松屋銀座での新作発表会が開催され、大盛況のうちに終了しました。
今年のテーマは、「2」。この漠然としたテーマが、職人それぞれの解釈によって作品化されました。
会場には、人気の定番作品などもずらっとお目見え。
からくり箱と格闘し楽しんでいる人たちの熱気に満ちたいつもの展示会場風景が見られました。
ご来場いただいた皆様、ありがとうございました！

開催：2015年4月29日～5月5日
場所：松屋銀座7階・和の座ステージ



↑賑わっています。すごい人ばかりです。
皆さんの熱気が伝わってきます…。



↑こちらは人気の定番たち。



↑手前に並ぶのが「2」をテーマとした
新作です。職人の苦労が垣間見えます。

関所からくり美術館 リニューアル・オープン！！

2013年に開館した関所からくり美術館が、この4月にリニューアル・オープンしました。
展示室の数が増え、新たなカテゴリーの作品が多数展示され、更に充実した内容となりました。
世界広しといえども、「からくり」の世界をこれほど堪能できるのはここだけ！
箱根にお越しの際はぜひお立ち寄りください。



↑普通には開かないドア。



↑新設された「頑固おやじの部屋」。勢揃いです。↑



↑研究会メンバーの作品展示コーナー



↑こちらも新設された「歴史作品」(左)、「組木」(中)、「世界のパズル」(右)のコーナー。どれもこれも貴重な作品です。
かつての名工の製作風景やからくり家具の開け方など、フォトフレームを使い動画で紹介しています。

からくりパズルを楽しむ会 (2014) のご報告 その2

前号では1日目のみのご報告でした。今回は、2日目の様子をご報告です。

開催：2014年9月27日・28日
場所：箱根・小田原

◆ 大人のための工作教室 ◆

この工作教室のために特別にアレンジした工作キット「からくりソファ」を作っていただきました。モチーフとなっているのは、もちろん、亀井明夫作のからくり家具・「ソファ」です。部品も細かく、少しでも気を抜くと間違えそうな内容で、皆さん、真剣に取り組んでいらっしゃいました。（ちなみに、今年の夏に行われる大人のための工作教室PART1は、この工作と同じ物です。）



↑未開封の状態。整然と袋に収まっています。



↑海外からの参加者にも英語で対応です。



↑「う〜ん。」皆さん細かい部品と格闘中！



←左・ボンドを付ける作業もなかなか神経を使います。

右・完成！！

◆ プレミアム箱根ツアー その① ◆

工作教室で頭と手を使っていた後は、貸切バスを利用しての箱根ツアーです。目的地は、施設が新しくなり大勢の人で賑わう大涌谷！今現在はちょっと危なくて規制されておりますが…。この時はまだ何事もありませんでした…。

昼食と自由時間を楽しんでいただいた後、箱根温泉供給株式会社の方から、大涌谷の歴史などについて、特別に解説をしていただきました。普段はなかなか聴くことはできない解説に、参加者の皆さんは興味津々。最近の騒ぎについても、大涌谷の歴史をよく理解された上で冷静にご覧になっているのではないのでしょうか。富士山の絶景も楽しんでいただくことができ、皆さんで記念撮影をし、次の場所へと移動です。



↑絶景かな！

→地球が生きているのを実感します。
今は一般の方はここまで入れません。



→右上・大涌谷の歴史についての説明
右下・名物「黒アイス」をお楽しみ中！



◆ プレミアム箱根ツアー その② ◆

大涌谷で生きた地球を感じていただいた後は、再び貸切バスで移動です。行き先は…、開催日まで明らかにされていなかった特別な場所です。小田原市内の某所、からくり職人・岩原宏志の自宅兼工房へ。完成して間もない特注品、岩原が約2年の歳月をかけて完成させた「からくり筆筒」の見学をしていただきました。実はこの企画、依頼主から許可をいただくことができ実現した、本当にプレミアムな企画です。「カノン・チェスト」と名付けられたこのからくり筆筒には、たくさんの引出しがあり、それぞれに仕掛が詰まっています。ある旋律を鳴らすと鍵が開く引出し、2進法・3進法の動きで隠し扉を開けることができる引出しなどなど。これら全ての仕掛を、岩原本人による解説・実演で楽しんでいただきました。

実際にはなかなか見ることができない大作とあって、参加者の皆さんも大満足のご様子。作者本人の解説・実演により、より解りやすく、充実した体験となったようです。



岩原本人による解説&実演です。参加者の皆さん、身乗り出し、真剣！です。



→ 全部開いた状態です。各部分には、銘木や寄木が使われています。細部まで凝った仕上がりです。

全ての行程が終了し、貸切バスで小田原駅へ。解散です。参加者の皆様、ありがとうございました！楽しんでいただけたでしょうか？

今年は宿泊はなくなりますが、その分お気軽にご参加いただける企画を設けています。

皆様のご参加を心よりお待ちしております！！



↑お世話になった貸切バス



おまけ：後日談
職人向けに仕掛を解説！フムフム、なるほど…。お勉強中です。

番外！

教えて！からくりさん！



↑ご参考までに大きさ比較。約5mm幅…。

新コーナーというわけではありませんが、会員の皆様から時々お寄せいただくご質問やご意見の中から、「『抽選販売』って本当にちゃんと抽選してるの？」という疑問にお答えします！

抽選申込締め切り後のある昼下がりの風景。お申込みいただいた皆様のお名前が書かれた紙片。お名前が透けて見えないように、敢えて「ウラ紙」を使います。そして、嚴重に折り畳みます。もう、どれが誰なのか、全くわかりません～！そして、ここから、当選者の数だけ紙片をひきます…。当たった方はおめでとうございます！なぜか毎回外れる…（泣）、という方は、本当にごめんなさい！ぜひ、これからも懲りずにお申込みください。